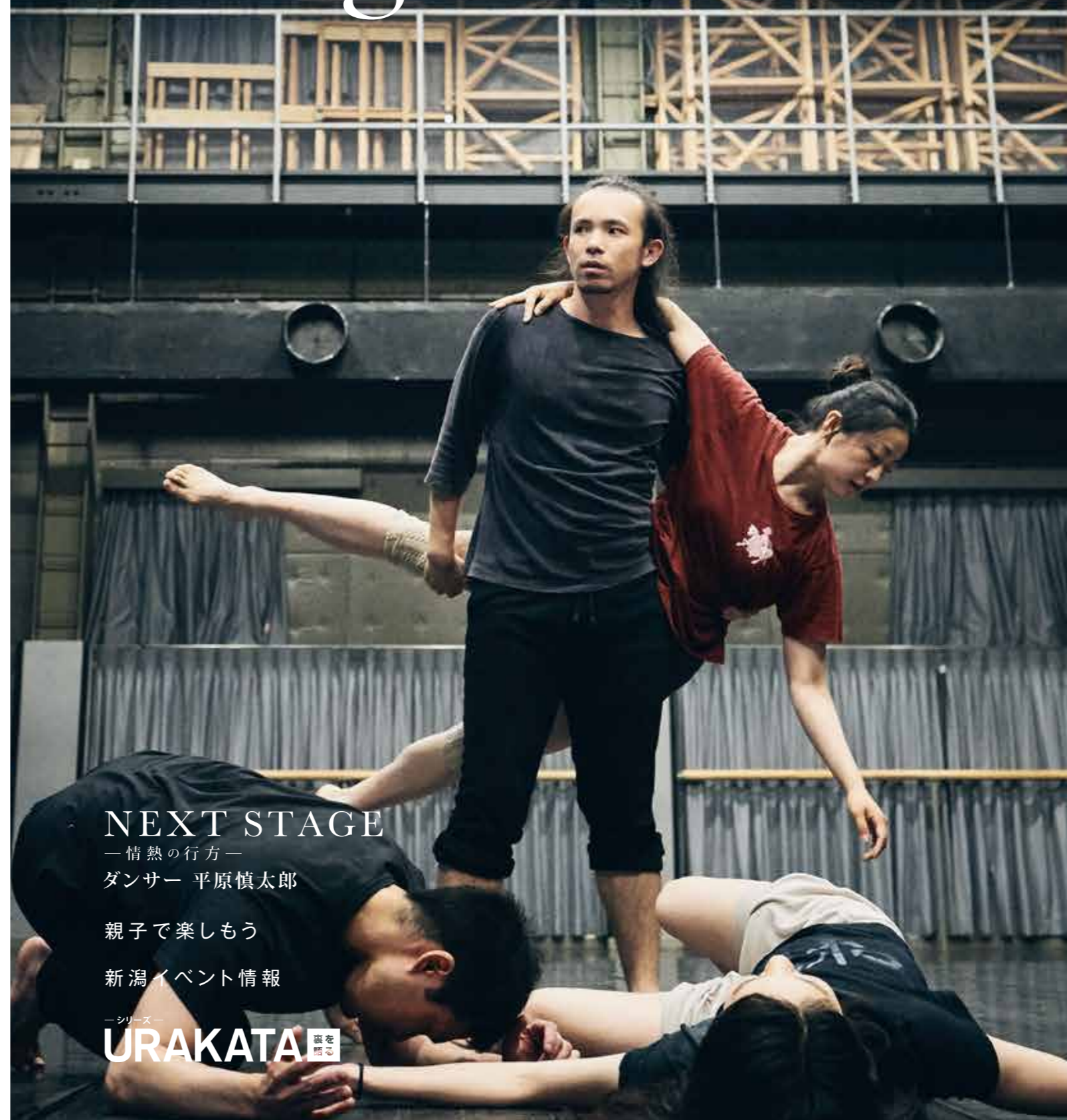


— “感動”が人をつくる —
**Culture
Niigata**



NEXT STAGE

— 情熱の行方 —
ダンサー 平原慎太郎

親子で楽しもう

新潟イベント情報

— シリーズ —
URAKATA

Culture Niigata 2019.09-11 vol.100 【令和元年8月25日発行】発行・編集／(公財)新潟県文化振興財団 編集・制作／(株)関東朝日広告社 デザイン／磯野和也 印刷／昭栄印刷(株)

よりぞう、あるある川柳

昼休み
ランチしながら
振り込みたい

©よりぞう

そんなあなたに、**JA ネットバンク** いつでも、どこでも、手軽で便利！※1 インターネットにアクセスするだけで振込や照会等のサービスが利用できます。

※1 利用可能時間、利用可能な環境、サービス内容の詳細等は、JA ネットバンクホームページをご確認ください。

SMART PHONE

PC

TABLET

MOBILE PHONE

| | | | |
|---|--|---|-----------------------------------|
| <p>残高・入出金明細照会 ご利用口座の残高と入出金明細が ご照会いただけます。</p> | <p>振込・振替 ご利用口座からの振込・振替※2と 処理状況のご確認が可能です。 ※2 当JAを含む全国のJA本支店および他行の 国内本支店への振込(電信扱い)・振替</p> | <p>定期貯金機能 ●残高・明細照会 ●口座開設 ●預入 ●満期解約予約</p> | <p>家計簿・通帳アプリ マネーフォワードサービス</p> |
|---|--|---|-----------------------------------|

くわしくは、JA ネットバンク特設ページへ <https://www.jabank.org/netbank/>

耕そう、大地と地域の未来。

JAバンク新潟県信連

NEXT STAGE

—情熱の行方—

これからの舞台芸術を担う、新潟ゆかりのアーティストを紹介する「NEXT STAGE」。今回はコンテンポラリーダンサーの平原慎太郎さん。北海道出身で東京を拠点に活躍中だが、毎年、新潟にはワークショップなどで訪れており、今年11月17日(日)開催の「新潟ダンスの祭典」にもゲスト出演されることが決まっている。そんな平原さんにこれまでの歩み、そしてこれからへの思いを聞いた。

ダンサー
平原慎太郎 Shintaro Hirahara

実家の畳が抜けるまで TRFの真似して踊っていました

—ダンスを始めたきっかけは？

小学6年生の頃、テレビ番組で観たTRFがあまりにカッコ良くて夢中になりました。今思えば、スポーツのように身体を動かしているのに、ダンスにはどこか文化的な雰囲気があるところに子どもながらも惹きつけられたんだと思います。ともかくにも、それ以後、VHSビデオにTRFを撮りだめて見よう見まねで何度も踊っていました。あまりに踊りすぎて実家の畳が抜けたほどです。そのままストリート系ダンスをやりたいのですが、地元小樽にはHipHopを教える教室がなかったので、代わりにクラシックバレエを習い始めました。高校生になって札幌のHipHopのクラスにも通いました。

—コンテンポラリーダンスとの出会いは？

中学3年の夏、札幌で開催されたバレエセミナーに参加したんです。フランスから世界的な指導者が来日し、日本全国から集まったバレエ少年少女が1カ月間みっちり様々なプログラムを受けるといった内容でした。そのプログラムの一つにコンテンポラリーのクラスがあり、参加したら褒められたんです。実はバレエでは一度も褒められたことがなかったのでうれしくて。単純だからそれでもうすっかりコンテンポラリーダンスが大好きになりました。そのセミナーをきっかけにコンテンポラリーダンスに出させていただく機会が2~

3回ありました。その時期はコンテンポラリーダンスのリハーサルにも参加していましたね。

—その中で、コンテンポラリーダンサーになろうと決めたのはどうして？

札幌のセミナーで出会った坂井朝彦さんというコンテンポラリーダンス界のレジェンドに「もっとうまくなるにはどうすれば？」と相談したら、「ヨーロッパを見た方が良い」とアドバイスをもらい、高校卒業後、バックパッカーで3カ月間、ヨーロッパを旅してまわったんです。そこで様々なコンテンポラリーダンサーと出会い、振付家、ダンサーという職業がどういうものかを知ったのが大きいんです。その旅の間にこの道を目指そうと決意しました。現在、新潟市民芸術文化会館の芸術監督を務めている、Noismの金森穂さんにもその旅の間に会っているんですよ。

—そうなんですね！

実は最初にお会いしたのは先ほど話した札幌のセミナー。僕がヨーロッパを旅した頃、金森さんはオランダのネザーランド・ダンス・シアター (NDT) にゲスト振付家として呼ばれていた時期でした。だから、金森さんのところにも泊めてもらい、いろいろダンスのことを教えてもらいました。僕にバレエのキャリアがないことも指摘され、もし、コンテンポラリー

ダンスをやっていくんだしたら、バレエの基礎をあと3年はやった方が良くアドバイスを受けました。だから、帰国してすぐ札幌のバレエスクールに入って頑張りました。ただ、その後、金森さんのプロジェクトのオーディションに受かったので上京しましたが。

優れたダンサーほど 身体の構造を知り尽くすオタク

—それがNoismですか？

Noismに参加したのはその1年後くらいです。所属していたのは2004年から07年までで、その後またクラシックバレエを約2年学びました。これは主に振付家としてのスキルを上げるためです。というのも、その頃、身体の構造やクラシックバレエの構造をしっかりと理解できないと振付けはできないというのが身をもって分かってきたのもあって。そうこうしているうちに地方で振付けの仕事をしていただき始め、他の振付家の作品にも出させてもらうようになっていきました。

—近藤良平さん率いる「コンドルズ」をはじめ、国内外のダンス作品に多数参加されたり、他のアーティスト作品とのコラボレーションされるようになり、現在も幅広く活躍されています。ご自身が感じているコンテンポラリーダンスの魅力はどういうところでしょうか？

他のジャンルのダンス以上に、ダンスの型などより身体の構造、動かし方を理解していることが大事なところ。身体をこう動かすとなると、ピンポイントで身体のどこの部分を回すかで見え方も速度も変わるんです。そこを突き詰めるほど上達していくのが面白い。実は金森さんをはじめ、優れたダンサーは概ね身体の構造を知り尽くしている。良い意味で“身体オタク”です。

それと、振りを人にあてていくのではなく、それぞれの人の振りをあてていく。つまり、人ありきなそれぞれの個性が存分に生かされるダンスということも魅力。同じシチュエーションでもダンサーによって全然違うものになる。そこが何より好きですね。

—2013年にはご自身のダンスカンパニー「OrganWorks」を立ち上げました。

僕たちダンサーに大事なコミュニケーションツールが身体言語。身体の動き、表情、目線などで伝え合う、理解し合うことで初めて作品作りができるわけです。でも、この身体言語を理解し合うのに結構、時間がかかるんです。プロジェクト単位でダンサーを募り、創作活動をしているのは全然、身体言語の理解度が深まっていかないわけです。それでもうカンパニーを作り、同じメンバーで同じ時間を共有し、同じ課題に向き合って創作できる環境を設けました。



—カンパニーでの創作で大事にされていることは？

作品全体の質感と、その質感を共有すること。そのために日々のトレーニングでのコミュニケーションをすごく大事にしています。現在、13名ほどのダンサーがいます。それぞれのカラーを生かしてカンパニー全体のカラーを作り上げてくれています。どこよりも素晴らしいダンサーが揃っているのが自慢です。

—今後はどうなっていきたいですか？

コンテンポラリーは「前衛的」という意味なので、自分で「コンテンポラリーダンサーです」と言うのは実は恥ずかしいことだと思っています。逆に「いやあ、コンテンポラリーだね」って人に言わせるパフォーマンスを披露し続けたい。プロである以上、常に観に来た人を「これぞダンスだ！」と感じさせ、かつ「面白い！」と思わせたいです。最近はダンサーとしてより振付家として作品に携わることの方が多のですが、思いは全く同じ、変わらないですね。

新潟の高校生のダンスレベルは高い！ 観客も踊る気満々がうれしい

—2009年から全国各地のワークショップに参加されているそうです。

毎年、いろんなところへ行っています。ひとりでワークショップといっても様々。参加者の年齢もそのつど違って上は60代から下は小学生までと幅広いし、ダンス経験も全く初めてという人が参加するタイプのものもあります。ワークショップの面白さは、人がふと何かに「気づく」様子を垣間見れること。数多くやっているとなんか全く想像していなかった、思いもよらないパフォーマンスを提示してくる人がいるんです。「えー、そういうことをやるんだ!」と驚かされるというか。そういう瞬間に立ち会えるとすごくうれしいです。

—新潟も何度か？

新潟はNoismに参加していたのもあり、2007年頃からなんだかんだと毎年来ています。新潟でもワークショップを開催していますが、身体の動きを理解している人が多く、身体の外し方に長けているというか、型にとらわれずに動きを出せる人が多い気がします。中でも高校生のレベルが全国的にみて相当高いですね。

—そうですか! 平原さんにそう言っただけだと嬉しいです。そんな高校生たちによる「新潟ダンスの祭典」が11月17日(日)に、新潟県民会館大ホールで開催されます。新潟県内の4つの高校と神奈川、愛知、大阪のダンス強豪校が一堂に会し、全国トップクラスの演技を披露する公演ですが、平原さんにもゲスト出演していただくことになっています。

めちゃくちゃ楽しみです。新潟県内の高校ダンス部は特にレベルが高いのですが、その理由は顧問の先生方の姿勢にあると思います。どの高校の先生方もダンスがすごく好きで部活も前のめりで頑張っておられます。全国チャンピオンを当然のことのように狙っていますからね。僕は先生方にロッキーのような魂を感じています。

—今回の公演は、新潟県内初めての試みです。

いやあ、すごく良いことだと思います。踊りはコミュニケーションの一つです。他県からもレベルの高い子たちが集まって、互いに切磋琢磨してきたダンスパフォーマンスを交換し合うというのはとても有意義なこと。何より高校生という感受性豊かな時期に、こうした本気になれる場所があるというのは本当に素晴らしいことだと思います。

—平原さんの演出で、参加校全員参加のダンスも披露されるそうですね。

そうなんです。バイタリティーを身体というツールを使ってどう表現できるかに挑戦しようと思っています。曲も超熱唱系。みんなが楽しめてみんなが自身を高める機会になればいいなと思っています。このような作品づくりに関われるのは個人的にもうれしい。プレッシャーを感じつつもワクワクしています。

—それは楽しみです。では、最後に観に来てくれる方々にもメッセージをお願いします。

阿波踊りの「踊らにゃンサンソン」ではないですが、観客の方々にも踊る気満々で来ていただけたら。もちろん、観るだけでも気軽な気持ちで来ていただければ、絶対楽しいはず。高校生たちの熱いバイタリティーを会場で体感してください。

Question & Answer

Q. 一番リラックスするのはどんなとき？

お酒を飲んで寝たとき。寝落ちがすごく早いです。僕の限界では有名です(笑)。

Q. 今、ハマっているものは？

ラップバトルですね。よくネットで観ています。

Q. 好きな音楽は？

HipHopです。北海道を拠点に活動している「THA BLUE HERB」というグループや、名古屋を拠点にしているラッパー、呂布カルマ(りよぶかるま)が好きでよく聴いています。

Q. 最近読んでいる本は？

ミシェル・ウエルエッグの「ある島の可能性」。多和田葉子さんの作品も好きです。



平原慎太郎

1981年北海道生まれ。クラシックバレエ、HipHopのキャリアを経てコンテンポラリーダンス専門のダンサー、振付家として活躍。ステーションコンポーザー、ダンス講師として活動。また、ダンスカンパニー「OrganWorks」を主宰し創作活動を行う。これまでに近藤良平主宰「コンドルズ」、大植真太郎主宰の「C/Ompany」など、国内外のダンス作品に参加。能楽師津村禮次郎との競作、劇団イキウメ、小林賢太郎、小林顕作、白井晃などに振付け提供、美術家塩田千春、播磨みどり作品とのコラボレーションなど、他分野のアーティストとの交流も盛んに行う。雑誌「BRUTUS」の特集『つぎのひと。～明日を変える人物カタログ～』パフォーミングアーツ部門で選出されている。

2013年 文化庁新進気鋭芸術家海外研修派遣にてスペインに9カ月研修

2015年 小樽市文化奨励賞受賞

2016年 トヨタコレオグラフィアワードにて次代を担う振付家賞、オーディエンス賞をW受賞

2017年 日本ダンスフォーラム、ダンスフォーラム賞受賞



高校ダンス部の強豪校が新潟に集結！
豊かな表現力と、躍動感あふれる
パワフルなダンスをお楽しみください。

9/5(木) 発売開始

2019 **11/17** 日

開演 **11:00** (10:30開場)

新潟県民会館 大ホール

全席指定 一般/2,000円
高校生以下/1,000円(当日各500円増)

※学生証又は保険証の提示をお願いします。

※ご予約ご購入いただいたチケットのキャンセル・変更はできません。※未就学児の入場はできません。保育ルームを設置しますので、公演の2週間前までに新潟県民会館へお申込み下さい。(生後6ヶ月～未就学児対象:有料200円)※車椅子席は新潟県民会館のみのお取り扱いとなります。

チケットの予約・お問い合わせ 新潟県民会館 **025-228-4481**

お問い合わせ 公益財団法人 新潟県文化振興財団 **025-228-3577**
(平日8:30~17:15)

出演校

愛知県

光ヶ丘女子高等学校



部長

太田 琴葉(3年)

チームの紹介と特徴

私たち光ヶ丘女子高等学校ダンス部はダンス以外の部分も大切にすることを心がけています。挨拶や学校清掃といった当たり前のことに力をいれ、学校生活では常にダンス部の誇りをもって行動しています。創部30周年を迎えた昨年、第31回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)で初めての文部科学大臣賞をいただきました。歴代の先輩方からの思いをつなげ自分たちの力を出ることができたことに感謝しています。今年はリスタートをテーマとし、新しい光ヶ丘を築き上げていこうと部員一同頑張っています。

作品について(テーマ、部員の思いなど)

今回発表する作品は2つ用意いたしました。一つ目は13年間先輩から踊り継がれている「ええじゃないか光ヶ丘」地元のお祭りで優勝した作品で今でも地域の方から人気の作品です。二つ目は「Troll ~森の隣人~」北欧の森の妖精を題材にした作品です。トロールはどこか懐かしく、愛おしく、森の中でまっすぐに生きています。「トロールが走ると風が吹き、トロールの息吹で新芽がほころび、トロールが踊ると花が咲く 森は生きる、トロールとともに」トロールが生み出す不思議な世界観を、光ヶ丘らしく表現しました。トロールは純粋で仲間を大切にします。しかし、作品づくりの中で、チームが心を合わせるまでに時間がかかり、思うように進まない時期がありました。支えてくださる先生方、先輩や仲間の存在に気づいた時進むべき道が見えました。トロールが森を守るように、私たちも光ヶ丘ダンス部を守り抜きます。

神奈川県 神奈川県立大和高等学校



部長
上瀧 あかり(3年)

チームの紹介と特徴

今年6月16日に開催された神奈川県ダンスコンクールで、4年連続、6度目の優勝を果たした。全日本高校・大学ダンスフェスティバルでは、2013年の文部科学大臣賞を含め、8年連続入賞という成績を残している。部員は3年を含め現在35人、うち半数は高校からダンスをはじめた初心者である。学校は神奈川県でもトップクラスの進学校であり、学業との両立が必須となっている。作品創りは、例年、部員たちの持ち寄ったテーマの中から決定、その後、立候補で決めた制作者を中心に全員でテーマにふさわしい振付を考えていく、という方法で取り組んでいる。部のモットーは「愛される人間となること!」見て下さる方々に自分たちの思いを伝えられるよう頑張ります。

作品について(テーマ、部員の思いなど)

今回は音先行で「踊ってみたい面白い音楽がある」と選んだ曲がフィボナッチ数列に則って演奏されているものと知り、テーマが決定した。自然界を支えるフィボナッチ数列、植物はこの規則性によって重ならないしくみを得た。どんな葉一枚一枚にも確かに光が当たるように。私たちにも輝ける場所が必ずあると信じて…。

大阪府 同志社香里高等学校



部長
小林 莉沙(3年)

チームの紹介と特徴

私たち同志社香里ダンス部は、中学・高校合わせて現在172名で活動しています。私たちは普段、ダンスの中でもストリートダンスという種類を練習しています。その中でもLOCK・WAACK・SOUL・HIPHOP・HOUSE・POP・JAZZの7ジャンルを練習しています。毎年、全ての練習内容を自分たちで見直し、先輩方から受け継いだことを上級生が下級生に指導の中で大切に伝えています。作品の選曲・振付・構成・衣装など、部員全員が納得いくまで話し合います。そのため、意見がぶつかり合うこともありますが、最後まで絶対に妥協せず、諦めずに全員で作りますので、完成した時の達成感を部員全員で感じることができます。どのようなダンスが人の心を動かすのかを今後も部員全員で追求していきたいと思っています。

作品について(テーマ、部員の思いなど)

今回踊らせていただく作品は、WAACKというジャンルの作品です。この作品のテーマに私たちは、刻韻(こくいん)とつけました。時を刻む。今、こうしている時も…私とあなたの時は刻まれる。私の思いを音楽とともにあなたの心に刻みたい。そして、音楽も私も舞台から消えたあと何かがあなたの心に残っていてほしい…そんな思いを込めて創作しています。また、「山月記」という物語をモチーフにしています。物語で描かれている主人公の劣等感や自分へのもどかしさ、情景など…今の自分自身と重ね合わせて創作しました。どのようなダンスが人の心を動かすのか…自問自答し探し求める私たちの思い、高校3年生がダンス部生活で最後に込める思い、下級生全員の思い…全てを2分30秒に込めた作品です。皆さんの心の奥に見えないくらい小さくても…何か伝えることができるように部員全員で心を込めて踊らせていただきます。

新潟県 新潟清心女子中学・高等学校



部長
菊池 朱里(3年)

チームの紹介と特徴

私たち新潟清心女子中学・高等学校ダンス部は「いつも笑顔で心はひとつ」をモットーに中高合同で日々練習に励んでいます。高校生は15名と少人数ではありますが、だからこそ、礼儀やダンスの技術面でも一人一人に細かく指導が行き届き、何よりも学年を超えての絆が深まります。練習前に、その日の目標を各学年で掲げ、常に緊張感のある雰囲気がつくれるように、部員が主体となって活動を行っています。新潟県総合体育大会春季ダンスコンクールでは、昨年に続き「最優秀賞」をいただくことができました。その他にも地域のイベントや介護福祉施設への訪問など、様々な場面で演技をさせていただいています。

作品について(テーマ、部員の思いなど)

今回の作品は、アメリカの小説家エドガー・アラン・ポーの「大鴉」に着想を得て創作しました。恋人の死…つまり、もう二度と戻ることのできない現実を受け入れられずにいる主人公に、何度も大鴉が事実を突きつけるストーリーです。私たちも、大切な人への軽率な言動により、信頼を失うことがあります。悔やんでも、その時間は二度と戻ることはありません。現実と直面する恐怖と押し寄せる後悔を主人公の心情と重ねました。受け入れ難い現実から目を背けることなく、事実と向き合い、受け止める必要があるという思いを伝えたいと思います。

新潟県 新潟明訓高等学校



部長
本間 郁美(3年)

チームの紹介と特徴

新潟明訓高校ダンス部は、創作ダンスをはじめ、バレエ・HIPHOP・チアダンスなど、様々なジャンルのダンスに挑戦しています。校内でのダンスパフォーマンスや地域でのイベント出演のほか、毎年3月には自主公演を開催し、「ダンスの力」をより広く発信するために、積極的に活動しています。現在、部員は30名で、性別や所属する類型、ダンスの経験は様々ですが、「ダンスを楽しむ」という共通の思いのもと、部員全員で切磋琢磨しながら日々の練習に打ち込んでいます。また、学業や普段の学校生活においてもダンス部であることの自覚と誇りを持ち、文武両道の実践に励んでいます。これからも、謙虚さと挑戦する姿勢を大切に、明訓ダンス部を築いていきたいと思っています。

作品について(テーマ、部員の思いなど)

今回、上演させていただく作品「乾いたところへ」は、「心で感じること」をテーマに創作しました。茶色のクラフト紙を表現の中核として用いることで、乾いた心を表しています。コミュニケーションの方法が多様化する現代で、相手の顔が見えない会話や、感情なしに繋がることに慣れた私たちは、「普段、どれだけ相手の気持ちを考えているだろう」と、自分自身に問いかけながら作品を深めました。目に見えない人の気持ちを知らうとすることは難しく、その不安や煩わしさから考えることをやめなくなる時もあります。それでも、相手の心に寄り添える人でありたいと願うのは、私たちに感じる心があるから…。その思いを作品に込めました。

新潟県 新潟県立新潟南高等学校



部長
遠藤 梨花子 (3年)

チームの紹介と特徴

新潟南高校ダンス部は、文武両道を目指し、限られた時間の中で日々活動しています。目標は、県大会、全国大会で入賞することです。現在は2年生11名、1年生9名の計20名で、明るく楽しく時には厳しく、チームワークを大切に、創作ダンスを始め様々なダンスに挑戦しています。大会の他にも、昨年はメディアシップダンスフェスティバルや震災復興支援チャリティダンスフェスタ、新潟市障がい者運動会等多くのイベントで作品を披露する機会をいただきました。常に感謝の気持ちを忘れず、周囲から応援してもらえる部活動になるよう、そして見てくださる方々に私たちの想いが伝わるようなダンスができるよう、これからも練習に励んでいきたいと思っています。

作品について(テーマ、部員の思いなど)

この作品は、小説「Little Tern」をもとに創作したものです。平凡に暮らしていた渡り鳥のコアジサシが、ある日突然飛べなくなるという現実と襲われます。その彼の内面の戦いと再起の物語を、私たちの日常である学校という空間で表現しました。毎日繰り返される学校生活。その平穏さは不安や苛立ちと隣り合わせです。一人ひとりが直面する様々な「飛べない」という現実。受け止めきれず、焦燥と混乱の中で空回りする心。そこで味わう苦さを動きに込めました。自作した千切りの音や号令、氷をかみ砕く音は、毎日やってくる代わり映えのしない日常と挫折を表しています。「飛べない」自分を認め、もがきながらも自己を見つけ出すことができた時、もう一度前より高く「飛べる」はずです。

新潟県 新潟県立新潟中央高等学校



部長
原 花実 (3年)

チームの紹介と特徴

私達、新潟中央高等学校ダンス部は創部70年の伝統ある部で、大会出場や小・中学校、福祉施設、スポーツイベントなどの公演に向けて、日々練習を行っています。現在は2年生12名、1年生15名の27名で、ダンス経験は様々ですが、互いに刺激し合い、切磋琢磨しながら活動しています。また日頃から「常に向上心を持って、積極的に自ら考えて行動する。」ことを心掛け、社会に出たときに、自分たちの糧となる礼儀や思いやりなども大切にしながら活動しています。

作品について(テーマ、部員の思いなど)

今回の作品のテーマは「毒親」です。「毒親」とは子どもの人生を支配し、子どもに害悪を及ぼす親を指し、現在、社会問題となっています。私達は特に親の「過干渉」に着目し、親からの必要以上の期待や縛り、制限などに苦しみ、悩みながらも自立しようと前を向き始める子どもの姿を表現しました。またその子どもたちの姿と、これから社会に出てより厳しい環境で生きていく私達の姿を重ね、萎縮して本当の自分を隠して生きていくのではなく、自らの意志をもって、前を向いて生きていきたいという思いも込めて創作しました。

新潟イベント情報

県内で行う様々な催物をお届けします。会場に足を踏み入れると、そこは別世界。是非、体感してみてください。

「新潟イベント情報」への掲載をご希望の方は、下記までご連絡ください。次号vol.101は、11月下旬発行予定です。10/6(日)までに、12月～2月の催物情報をお寄せください。

(公財)新潟県文化振興財団 事業課「カルチャーにいがた」係

TEL 025-228-3577 FAX 025-228-3818 E-mail jigyou@niigata-bunka.jp

※「助成事業」は(公財)新潟県文化振興財団助成事業です。
※未就学児は入場不可の場合があります。☺️「託児あり」の公演には託児室を設置します。(要予約)
※8/20時点の情報です。主催者等の都合により内容等が変更になる場合があります。詳細については、各問合せ先へご確認ください。

ホームページ「新潟文化物語」にも各種催物情報を掲載しています。掲載をご希望の方はホームページ上から登録をお願いします。

新潟文化物語 検索

- 分野別アイコン
- コンサート
- ミュージカル・演劇・舞踊
- 古典・伝統
- 美術展・写真展
- イベントなど

コンサート

Aber eins ～でも、ひとつ～ Vol.3
フランシス・ブーランク生誕120周年記念
ブーランクと、同時代を生きた作曲家たち

9/8(日) 14:00 だいしホール

洗練されたユーモア突然現れる甘美な旋律かと思えば、シリアスな影までもが見え隠れする軽妙洒脱なブーランクの世界!

出演:齊藤晴海(ピアノ)、小山瑠美子(ソプラノ)、佐々木友子(ヴァイオリン)
曲目:フランシス・ブーランク/ピアノ即興曲15番「エディット・ピアフを讃えて」、歌曲集「月並み」(全5曲)、ヴァイオリンとピアノのためのソナタ(全3楽章)、山田耕筰/からたちの花、あわて床屋、マヌエル・デ・ファリャ/スペイン舞曲 他



料金 全席自由 一般 2,000円(当日500円増) 大学生以下 1,000円

主催 齊藤晴海 090-1124-4432(コンサート事務局)

コンサート

助成事業

第15回 長岡混声合唱団 定期演奏会

9/8(日) 14:00

長岡リリックホール コンサートホール

今年2月にサントリーホール(東京)で演奏した「ドイツ・レクイエム」を、第15回目の定期演奏会でこれまでの集大成として、心を込めてお届けします。ぜひご来場ください。

出演:福島章恭(指揮)、馬原裕子(ソプラノ)、与那城敬(バリトン)、ヴェリタス室内オーケストラ、小山恵(ピアノ)
曲目:ブラームス/ドイツ・レクイエム作品45、高田三郎/混声合唱組曲「心の四季」



料金 全席自由 2,000円(当日500円増)

主催 長岡混声合唱団 090-2750-8753(鷲頭)

イベントなど

MYOKO SKOOL -ダンシング・モンスター!-
越智雄磨セレクション vol.2

9/22(日) 14:00 妙高市文化ホール

ダンスのトークと実演を行うシリーズ「MYOKO SKOOL」。今回フォーカスを当てるのは「ダンスとアイデンティティ」。スウェーデン王立バレエ団などの名門劇場で活躍してきた児玉北斗が妙高に滞在。小学生から高校生までを対象に8日間の試行錯誤のプロセスを共有して振付作品を創作します。

出演:児玉北斗
越智雄磨(早稲田大学演劇博物館招聘研究員)
公募出演者



料金 全席自由 一般 1,500円 高校生以下 500円

※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催 (公財)妙高文化振興事業団 0255-72-9411

コンサート

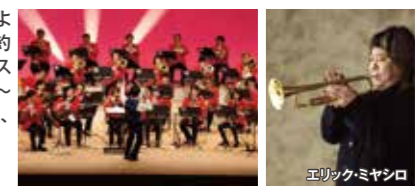
助成事業

糸魚川吹奏楽団 第40回記念定期演奏会

9/22(日) 14:00 糸魚川市民会館

第40回目の記念開催として、第1部に地元の中高校生有志を招き合同演奏を企画しています。第2部には、ゲストMCにオクタビストの石塚勇氏、スペシャルゲストにトランペット奏者のエリック・ミヤシロ氏を迎え、華やかで楽しいポップスステージを繰り広げます。どうぞお気軽にご来場ください。

曲目:朝鮮民謡の主題による変奏曲、大いなる約束の大地～チンギスハーン～、Rocky～ロッキーのテーマ～、Maria 他



料金 全席自由 1,000円(当日200円増) 小学生以下 無料

主催 糸魚川吹奏楽団 090-3228-5306(清水)

イベントなど

トチオノアカリ2019

9/28(土)・29(日) 17:00 長岡市栃尾市街地

平成28年から始まり今年で4回目となる長岡市栃尾地域のライトアップイベントです。織物の町を象徴するように糸線木枠で作ったランプ約2,000個が栃尾雁木通りに並び、秋葉信仰の総本山である秋葉神社をはじめ、会場内には様々なアカリのインスタレーションで、栃尾の町を照らします。また、長岡出身のフォークデュオ、栃尾地域のビッグバンドによるステージイベントやナイトマルシェも開催されます。



関連イベント
トチオノアカリフォトコンテスト
応募期間 9/28(土)～10/13(日)

料金 入場無料

主催 託児あり 助成事業
お問合せ トチオノアカリ協議会 090-2160-8269(阿部)

ミュージカル・演劇・舞踊 託児あり

劇団四季ミュージカル『エビータ』

9/28(土) 17:30 新潟県民会館 大ホール
9/29(日) 17:30 上越文化会館 大ホール

アンドリュウ・ロイド＝ウェバーの最高傑作『エビータ』12年ぶりの全国公演。アルゼンチンの片田舎に私生児として生まれた少女エバ。彼女が大統領夫人となり、33歳でその生涯を終えるまでの一生を描いた物語。



撮影:山之上雅信 過去の公演より

料金 [新潟公演] 全席指定 S席 8,640円 A席 6,480円 B席 3,240円
[上越公演] 全席指定 S席 8,500円 学生 4,500円
A席 6,200円 学生 3,000円 B席 3,000円
※3歳未満の入場はご遠慮ください。3歳以上要チケット。

お問合せ 新潟県民会館 025-228-4481 上越文化会館 025-522-8800

主催 【新潟公演】(公財)新潟市芸術文化振興財団、劇団四季、新潟日報社、BSN新潟放送
【上越公演】(公財)新潟県文化振興財団、上越文化会館

コンサート

女声アンサンブル“グリュツィーネ”演奏会 ～子どもを愛撫する母親のような～

9/29(日) 17:00 新潟県政記念館

ドイツ語で「藤の花」を意味する“グリュツィーネ”。ウィーンやドイツのドレスデンなど国際的な演奏会にも多数参加している実力派の女声アンサンブルです。歌声が響き渡る新潟県政記念館を会場に開催されるこの機会をお見逃しなく。

出演:女声アンサンブル“グリュツィーネ”、
藤田明(指揮)、山田裕子(ピアノ)
曲目:B.フリース/眠れ、わが王子よ(モーツァルトの子守歌)、ドイツ民謡/もし小鳥ならば(夜汽車)、F.シューベルト/アヴェ・マリア 他



聖十字架教会(ドイツドレスデン)にて

料金 全席自由 2,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 新潟県政記念館 025-228-3607

主催 【主催】女声アンサンブル“グリュツィーネ”、新潟県政記念館

コンサート

水谷川優子 チェロリサイタル ～51絃の綾 ハープを迎えて～

10/13(日) 13:30 三条市東公民館

11回目を迎える『水谷川優子チェロリサイタル ～51絃の綾 ハープを迎えて～』を三条東公民館にて開催いたします。新潟出身のハープ奏者、山宮り子氏をゲストに迎え、チェロ&ハープの響きをお届けします。名曲の数々をトークとともに楽しみください。

出演:水谷川優子(チェロ)
山宮り子(ハープ)
曲目:サン＝サーンス/白鳥、バッハ/ヴィオラ・ダ・ガンバのためのソナタ第2番 他



料金 一般 2,500円(当日300円増) 高校生以下 2,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催 託児あり 助成事業
お問合せ Enne倶楽部新潟 0256-33-9722

コンサート

長岡市民合唱団 第31回定期演奏会「カルミナ・ブラーナ」 ～日本を代表するプロ打楽器集団との競演

10/20(日) 14:00

長岡リリックホール コンサートホール

オルフ作曲「カルミナ・ブラーナ」2台のピアノと打楽器伴奏バージョンの演奏を行います。100名を超える大合唱と、日本トップの打楽器集団、国内外で活躍している声楽家との競演をご堪能ください。

出演:船橋洋介(指揮)、石上朋美(ソプラノ)、
糸賀修平(テノール)、小林大祐(バリトン)、
パーカッションミュージアム(打楽器)、齋藤淳子(ピアノ)、小山恵(ピアノ)、
長岡市民合唱団、法政大学アカデミーOB合唱団、長岡少年少女合唱団



第25回定期演奏会より

料金 全席自由 2,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催 託児あり 助成事業
お問合せ 長岡市民合唱団 090-3142-3918(監物)

コンサート

想いでの詩コンサート2019

10/26(土) 18:30 アミューズメント佐渡

世代やジャンルを超えて将来も残していきたい、歌い継いでいきたい日本の名曲を中心に選曲し、会場と一体となって音楽の楽しさ、素晴らしさを伝えるコンサートです。今回は、「音楽の黄金時代」である、1960年代、70年代の日本の名曲を中心に、海外の名曲も散りばめてお贈りいたします。

出演:2VOICE(原順子、叶央介)、FCT郡山少年少女合唱団
曲目:夢で逢えたら、白いブランコ、卒業写真、Mr.サマータイム 他



料金 全席自由 2,000円(当日500円増)

お問合せ アミューズメント佐渡 0259-52-2001

主催 【主催】(公財)日本テレビ小橋文化事業団、TeNYテレビ新潟、アミューズメント佐渡

古典・伝統

「伝統芸能のつどい」 能楽と詩吟・吟舞・剣武の合同公演

10/27(日) <第1部>10:00 <第2部>14:00
新発田市民文化会館

新発田市内の団体による古典芸能の「能楽」と「詩吟・吟舞・剣武」の合同公演を開催します。市民の日頃の練習の成果を発揮する場です。皆さまお誘いあわせのうえ、ぜひお楽しみください。

<第1部>能楽鑑賞会
出演:新発田観世同好会、新発田宝生会
<第2部>詩吟・吟舞・剣武
出演:詩吟神風流、日本國風流詩吟、
日本國風流吟舞、あやめ剣武同好会



料金 入場無料

主催 託児あり 助成事業
お問合せ 新発田市民文化会館 0254-26-1576

ミュージカル・演劇・舞踊 託児あり

トリエステ・ヴェルディ歌劇場 オペラ「椿姫」

11/6(水) 18:30 新潟県民会館 大ホール

イタリアの名門、ヴェルディ2作品を初演したゆかりの劇場、トリエステ・ヴェルディ歌劇場。死を前にしての心の叫びに涙を誘われる、これぞイタリア・オペラの決定版を全三幕(原語上演・日本語字幕付き)でお届けします。

指揮:ジャンルカ・マルティネンギ
演出:ジュリオ・チャバッティ
演奏:トリエステ・ヴェルディ歌劇場管弦楽団
/合唱団

出演:ブラゴイ・ナコスキ(アルフレード)、アドリアーナ・イオツツィア(ヴィオレッタ)、
イタロ・プロフェリージェ(ジェルモン)



料金 全席指定 S席 18,000円 A席 14,000円
B席 9,000円 C席 6,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 新潟県民会館 025-228-4481

主催 【主催】UX新潟テレビ21、(公財)新潟市芸術文化振興財団、コンサートドアース

古典・伝統

柏崎古典フェスティバル2019 池辺晋一郎 音楽の不思議 上演300周年 ユネスコ無形文化遺産 華麗なる琉球王朝文化の組踊

11/24(日) 14:00 柏崎市文化会館 アルフォーレ

沖縄伝統芸能「琉球舞踊」と、今年で上演300周年を迎える「組踊」の初めての上演作品の一つで人気の名作「執心鐘入」をお楽しみください。「組踊は聴くもの」と言われるほど音楽性の強いその魅力に、作曲家・池辺晋一郎が多角的視点でのナビゲートで迫ります。

出演:池辺晋一郎(お話)、島袋光晴、宮城茂雄 他
演目:琉球舞踊、組踊「執心鐘入」



料金 全席自由 2,500円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 柏崎市文化会館アルフォーレ 0257-21-0010

主催 【主催】柏崎市文化会館アルフォーレ、古典を活かした柏崎地域活性化事業実行委員会

コンサート

中越地震から15年、元気に復興した魚沼の絆を未来へ繋げる ～魚沼バイオリンランドクラブ震災メモリアル演奏会～

11/3(日・祝) 13:30 魚沼市小出郷文化会館

中越地震から15年目の節目の年に、魚沼バイオリンランドクラブの演奏を通じて完全に復興した魚沼の皆さんと、人と人との絆を再確認するとともに、災害当時に思いを馳せ、この15年を振り返ります。子どもから大人まで楽しめる弦の世界をご家族揃ってお楽しみください。

出演:安部慶子(バイオリン)
ミゲル・ソーサ(ピアノ)
崎野敏明(チェロ)
楠山裕子(ピアノ)
魚沼バイオリンランド
クラブ



料金 全席自由 500円 中学生以下 無料

主催 託児あり 助成事業
お問合せ 魚沼バイオリンランドクラブ 090-3311-5271(小島)

コンサート

キャトルフルートコンサート vol.6

11/17(日) 14:00 りゅーとびあ 能楽堂

新潟県出身のフルート奏者4名で結成されたキャトルフルート。2年に1度のリサイタルの開催も、今年で第6回目となります。ピッコロから、アルトフルート、バスフルートなどを使って、幅広い音色で名曲揃いのプログラムをご堪能いただけます。豪華フルート4重奏をお楽しみください。

出演:キャトルフルート(手島尚子、西山直子、丸田悠太、水島あや)
曲目:バッハ/トッカータとフーガ
吉松隆/さえずり鳥プログ
堀悦子/3本のフルートのための2章 他



料金 全席自由 3,000円 高校生以下 1,500円(当日各500円増)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催 託児あり 助成事業
お問合せ キャトルフルート 025-285-1620(西山)

コンサート

第35回 ブルーノートジャズオーケストラコンサート 「コマーシャルの中のJAZZ」

11/30(土) 18:30

長岡リリックホール コンサートホール

長岡に拠点を置く市民によって結成された本格派アマチュアバンド、BLUE NOTE Jazz Orchestra。第35回目の節目となる今年は「コマーシャルの中のJAZZ」。「ああ、このCM!」とそのシーンを思い浮かべさせてくれる、皆さまに耳馴染みのある曲をお贈りします。笑いも交えた楽しいコンサートをご期待ください。

曲目:マイ・フェアバリット・スイングス、
ウォーター・メロン・マン、茶色の小瓶、星に願いを 他



料金 全席自由 1,000円(当日200円増) 中学生以下 無料

お問合せ 音食(ねじき) 0258-36-7655(荒木)

主催 【主催】ブルーノートジャズオーケストラ

子どもとワクワク・ドキドキを 親子で楽しもう

イベントなど

夏の企画展示「食虫植物展」

9/16(月・祝)まで

新潟県立植物園

9:30~16:30 (券売は16:00まで)

ウツボカズラやハエトリソウ、モウセンゴケなど食虫植物が大集合! 虫の気持ちになって入れる巨大模型も登場。食虫植物が虫を捕らえるしくみを楽しく学べます。



ウツボカズラ(巨大模型)

ハエトリソウ

料金

大人 600円 シルバー 500円 高校・学生 300円
中学生以下 無料

主催・お問合せ

新潟県立植物園 0250-24-6465

イベントなど

託児あり(上越公演のみ)

朗読音楽劇 ~音楽と語りのオオカミとヤギの物語~ あらしのよるに ~ガブとメイ 思い出のあしあと~

10/19(土) 15:00 上越文化会館 大ホール

10/20(日) 16:00 新潟市秋葉区文化会館

世界中で愛読されている絵本「あらしのよるに」を女優 竹下景子さんの朗読と、この公演のために作曲されたオリジナル楽曲の生演奏との共演のほか、原作者きむらゆういちさんと竹下景子さんの対談もお楽しみに。

料金

【上越公演】
全席指定 一般 3,000円 中学生以下 1,000円
親子ペア券 3,500円
※親子ペア券は中学生以下に限る。
※4歳未満の入場はご遠慮ください。

【新潟公演】
全席自由 一般 3,000円 中学生以下 1,000円(当日各300円増)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催・お問合せ

【上越公演】上越文化会館 025-522-8800
【新潟公演】秋葉区文化会館 0250-25-3301



美術展・写真展

PIXARのひみつ展 いのちを生まだすサイエンス

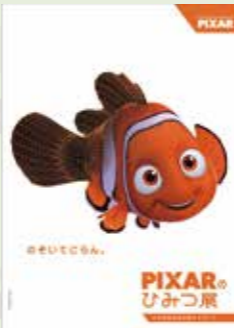
10/12(土)~11/24(日)

新潟県立近代美術館

9:00~17:00

(券売は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日)

ピクサー作品の舞台裏へようこそ! 子供から大人まで絶大な人気を誇るPIXARアニメーション。その制作のひみつを探る世界初の体験型展示が、いよいよ新潟にやってくる!



PIXARのひみつ展

PIXARのひみつ展はボクシングサイエンスミュージアムがPIXARとの協力により開発したものです。
©Disney / Pixar. All Rights Reserved. Used Under Authorization.

料金

一般 1,500円 高校・大学生 1,300円
中学生以下 無料

お問合せ

新潟県立近代美術館 0258-28-4111

【主催】PIXARのひみつ展新潟実行委員会、新潟県立近代美術館、新潟日报社、BSN新潟放送

イベントなど

子育て応援企画 「絵本のじかんだよ!」

11/4(月・振休) 14:00 魚沼市小出郷文化会館

とびきり楽しい小林顕作(オフロスキー!)によるライブ感あふれる読み聞かせ! 知っている絵本も知らない絵本もたくさん読むよ。始まったら笑いはなしの1時間をみんなで楽しんでね。

料金

全席自由 一般 2,000円
中・高校生 1,000円
小学生 500円
未就学児 無料

※母子手帳をお持ちの妊婦さんは
入場無料

主催・お問合せ

魚沼市小出郷文化会館
025-792-8811



撮影:石川純



文化庁

平成31年度 文化庁
文化芸術創造拠点形成事業

平成31年度舞台芸術への 県民参加推進プロジェクト

県内の文化施設等からなる「舞台芸術への県民参加推進プロジェクト」では、一人一人全ての県民が、舞台芸術に気軽に触れる、又は気軽に舞台を創る体験ができる機会を積極的に提供するために、県内各地で様々な優れた公演等を実施します。この事業には、文化庁の「文化芸術創造拠点形成事業」を活用しています。

<参加団体>

新潟県民会館・糸魚川市民会館・上越文化会館・南魚沼市民会館・見附市文化ホールアルカディア・魚沼市小出郷文化会館・リゅうとびお新潟市民芸術文化会館・新潟市北区文化会館・新潟市秋葉区文化会館・柏崎市文化会館アルフォーレ・長岡市寺泊文化センター・燕市文化会館・胎内市産業文化会館・新潟県・(公財)新潟県文化振興財団

ミュージカル・演劇・舞踊

託児あり

劇団四季ファミリーミュージカル 「はだかの王様」

11/3(日・祝) 15:00 南魚沼市民会館 大ホール

アンデルセンと寺山修司と、劇団四季のミュージカル! 見えない服が、あなたの心を見せてくれる。おしゃれに夢中な王様をつくらせる不思議な服をめくって繰り広げられる物語は「本当のことを言う勇氣」の大切さを教えてください。



撮影:阿部章仁 前回公演より

料金 全席指定 一般 3,500円 高校生以下 2,000円
※3歳未満入場不可、3歳以上要チケット

お問合せ 南魚沼市民会館 025-773-5500

コンサート

託児あり

北区音楽文化の祭典 その3 第3回大谷康子とアンサンブル NORTH新潟

11/30(土) 14:00 新潟市北区文化会館 ホール

「第三回大谷康子とアンサンブルNORTH新潟」大谷康子さんと新進気鋭若手による小編成オーケストラがお届けする音楽の祭典。



料金 全席指定 一般 3,900円 高校生以下 1,950円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 新潟市北区文化会館 025-388-6900

コンサート

託児あり

プラハ・チェロ・カルテット

10/11(金) 19:00 青海総合文化会館(きらら青海)

10/12(土) 14:00 胎内市産業文化会館

クラシックの定番から映画音楽、ポップスまでダイナミックでユーモア溢れる演奏をお楽しみください。

曲目:パッハ/G線上のアリア、「オペラ座の怪人」序曲、レット・イット・ゴー~「アナと雪の女王」、クイーン/ボヘミアン・ラプソディ 他



料金 全席自由 一般 2,000円 中学生以下 500円(当日各500円増)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 糸魚川市民会館 025-552-5900 胎内市産業文化会館 0254-43-6400

コンサート

託児あり

アルカディア ピアノフェスティバル ~わたしの街のピアニスト~

11/23(土・祝) 14:00 見附市文化ホール アルカディア

アマチュアピアニストにアンサンブル演奏技術を習得する機会を提供し、ソロとアンサンブルに分かれ、成果を演奏会として披露します。ゲストピアニストに三船優子氏をお迎えします。



料金 全席自由 1,000円(当日200円増)
※5歳未満入場不可、5歳以上要チケット

お問合せ 見附市文化ホール アルカディア 0258-63-5321

ミュージカル・演劇・舞踊

秋葉区オリジナル 市民ミュージカル トライアル公演「走れ!ロコモーション」

2020/1/19(日) 時間未定 新潟市秋葉区文化会館

2020年秋葉区オリジナル市民ミュージカルの上演に向け、演劇ワークショップとその成果発表公演を開催します。



料金 全席自由 500円

お問合せ 新潟市秋葉区文化会館 0250-25-3301

マイタウン・コンサート 2019

新潟県出身・在住の演奏家によるお話付きの
楽しいコンサートを県内各地にお届けします！
どうぞお楽しみください。

10/18(金) 14:00 関川村市民会館アリーナ

新潟県を中心に演奏活動を行うプロの
音楽家集団、アンサンブルオピリー。
ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラ
バスによる弦楽五重奏による、大人から
子どもまで楽しめるコンサートです。

出演:アンサンブルオピリー

佐々木将公(ヴァイオリン)
阿部智子(ヴァイオリン)
加野晶子(ヴィオラ)
片野大輔(チェロ)
星野勝彦(コントラバス)



料金 入場無料

お問合せ 関川村教育委員会 0254-64-1491

9/28(土) 15:00 聖籠町文化会館

ヴァイオリンの廣川抄子さん、チェロの
渋谷陽子さん、箏の武藤祥園さんによる
トロントリオ。弦の豊かな音色に貝津
摩理さんのピアノと鈴木規子さんのソ
プラノも加わり、ステージを彩ります。

出演:トロントリオ

廣川抄子(ヴァイオリン)
渋谷陽子(チェロ)
武藤祥園(箏)
鈴木規子(ソプラノ)
貝津摩理(ピアノ)



料金 全席自由 一般 500円 中学生以下 無料(要整理券) ※未就学児の入場は
ご遠慮ください。

お問合せ 聖籠町市民会館 0254-27-2121

11/9(土) 14:00

9/10(火) 発売開始

新発田市生涯学習センター

新潟が誇る三味線奏者で、今年9月に
新潟高橋竹山会三代目会主を襲名した
史佳Fumiyoshiと、その師匠であり、
母親でもある高橋竹育との親子共
演です。民謡に二代目須藤雲栄を迎え、
親子ならではの絶妙な間と呼吸、
そして至極の唄声をお届けします。

出演:史佳Fumiyoshi(三味線)
高橋竹育(三味線・太鼓)
二代目須藤雲栄(民謡唄)



料金 全席自由 一般 500円 中学生以下 無料(要整理券) ※未就学児の入場は
ご遠慮ください。

お問合せ 新発田市生涯学習センター 0254-26-7191

ご寄付をお願いします

皆様のご支援が、これからの新潟の文化・芸術振興の大きな力となります。



新潟文化情報誌「カルチャーにいがた」
を年4回発行しています。



新潟県民が優れた文化芸術に気軽に触
れることのできる機会を提供します。



県内の文化団体等の事業を支援してい
ます。

昭和56年(1981年)の設立以来、県民の皆様一人ひとりが心の豊かさを実感できるよう、県民の皆様が自主的に取り組まれる文化活動を支援さ
せていただく事業や県民の皆様が優れた文化・芸術に触れていただく機会を提供する事業などを行ってまいりました。

今後も安定的に県内における文化活動の支援に取り組むため、このたび、多くの文化・芸術を愛する皆様からご支援をいただく寄付制度を創設致
しました。何卒、当財団の事業趣旨にご理解とご賛同をいただき、ご寄付をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

なお、当財団は「特定公益増進法人」となっており、ご寄付をお寄せいただいた個人、法人の皆様には税制優遇措置が適用されます。

お問合せ 公益財団法人 新潟県文化振興財団 総務課
TEL: 025-228-3700 WEB: <http://www.niigata-bunka.jp>

Culture
Niigata

●発行回数 年4回(5月、8月、11月、2月)
●発行部数 15,000部
●配布先 市町村、公民館、文化施設、金融機関、大学等

●発行 公益財団法人 新潟県文化振興財団
TEL 025-228-3577 FAX 025-228-3818
E-mail jigyouni@niigata-bunka.jp WEB <http://www.niigata-bunka.jp>
Address 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-13

「カルチャーにいがた」送付について

「カルチャーにいがた」をご希望の方には郵送料実費にてお送りしています。
住所、氏名、希望する部数を明記の上、返信用切手(140円/1冊)を添えて、新潟県文化振興財団までお申し込みください。
複数冊ご希望の場合はお問い合わせください。

シリーズ

URAKATA

裏を
語る

舞台裏から、芸術の新たな魅力を発信!

舞台をつくっているのはアーティストだけではない。
音楽・文化・芸術をもっと身近に感じてもらうため
ここでは裏方で活躍する人々をご紹介します。
第17回目は「舞台衣裳」の仕事について
劇団四季技術スタッフ コスチューム(衣裳)担当の平尾里美さんに話を聞いた。

劇団四季 コスチューム(衣裳)
平尾 里美

12年ぶりの『エビータ』全国公演 芝居だけでなく衣裳も見応えあり

劇団四季は今年8月から浅利慶太追悼公演として東京・相模
原公演を皮切りにミュージカル『エビータ』の全国ツアーをス
タートさせている。『エビータ』は、南米アルゼンチンを舞台に、
私生児として生まれながらも、その美貌と才気でアルゼンチン
大統領夫人にまでのぼりつめた実在の人物エバ・ペロンの数奇
な半生を描いたミュージカル。1982年の初演以来、数回のリ
ニューアルを経て各地で上演を重ねている、劇団四季を代表す
るレパートリーの一つ。根強い人気を誇る作品だ。その『エビ
ータ』が今回実に12年ぶりに全国を巡ることになった。ちなみに
新潟では9月28日に新潟県民会館、29日に上越文化会館での上
演が予定されている。

横浜市青葉区あざみ野にある劇団四季の拠点・四季芸術セン
ターを訪れたのは5月下旬のこと。稽古場で俳優陣が『エビータ』
の稽古に励むかたわら、技術スタッフのコスチューム担当チーム
も、『エビータ』の衣裳の準備を着々と進めていた。
『エビータ』は、歌もお芝居も素晴らしい作品ですが、一人ひと
りの衣裳もしっかり作り込まれていて素敵です。特に主人公エビ
ータは庶民から大統領夫人へとぼりつめていくのですが、それに
合わせて衣裳も次々変化していきます。どれも美しいのでそこ
にも注目して観てほしいですね。そう楽しそうに明るく笑顔で話
すのが平尾里美さん。『エビータ』のコスチュームチームのチーフ

を任されている。

キャストが着る衣裳を 完璧な形で用意する

劇団四季には約50名のコスチューム担当がいる。公演ごとに4~
5名のチームを作り、その演目に出演するキャスト全員の衣裳を
用意する。それに伴う予算やスケジュール管理なども平尾さんたち
コスチュームチームの仕事だ。
「劇団四季では、再演作品の場合、上演が決まると長野県大町市に
ある倉庫で管理している衣裳を取り出してきてまずメンテナンス
を行います。しわになっていることが多いのでアイロンがけは必須。
ボタンやビーズが取れていたら付け直し、穴あきやほつれも直し
て。飾りが古びていたら新しい物に付け替えたり、ひどく色あせて
いたら染め直したり。準備が整ったらキャスト一人ひとりにフィッ
ティングを行います。サイズだけでなく実際、どんな動きをするかも考
慮しながら、調整していきます。どうしても衣裳のサイズがキャスト
に合わない場合は新たに作り直したりもします」

ちなみに『エビータ』は今後の出演を目指す稽古キャストも含めて
総勢60名。しかも主役のエビータだけで12パターンの衣裳があるた
め、フィッティングだけで相当、時間がかかったそうだ。さらに本番直
前、キャストたちは衣裳を着て稽古を行う。激しいアクションやダン
スをして大丈夫か平尾さんたちコスチュームチームがチェック。
この稽古中、衣裳のすそを踏んでしまい、破れたり傷んだりすること
も多く、そこでまた動きやすいように調整直すこともあると言う。



初日から千秋楽までベストな状態で
お客様に楽しんでいただけるよう
私たちスタッフも最善を尽くす

四季芸術センター 衣裳部屋

「ある程度、可動域を広く設け、動きやすいデザインにしてあるのですが、直前に動きが変更になり、それで衣裳が破れることもあります。『そんな動きをするとは聞いてなかった』と思っても、プロですからしっかり直します(笑)。舞台は初日が決まっているので何が何でもそこに間に合わせることが私たちスタッフにとって最重要事項の一つです」

平尾さん曰く「衣裳も生き物」使えば使うほど消耗するのでどんどん形もくずれていく。とはいえ、衣裳も作品の一部。すぐ新しいものに変えられるものでもない。だからこそ、どこまでメンテナンスをするか見極めが大事だと語る。

「初日から千秋楽まで常にベストな状態でお客様に楽しんでいただく。そのために最善を尽くしています」

初日の幕が開くと、その後は「本番付き」として俳優の早着替えや本番終了後のメンテナンスをするコスチューム担当が1人、場合によっては複数公演に帯同する。それ以外のスタッフはまた、あざみ野の本拠地に戻り、それぞれが次の演目の準備に入っていく。「常に次の何かが始まるので、終わりがあるようでないんです。そのせいか、この仕事を始めてからあつという間に時間が過ぎるようになりました」

『キャッツ』を初めて観た時 「何かできるかも」と入団を希望

子どもの頃から、裁縫好きの母親の影響で、ミシンなどで縫

い物をして楽しんでいたという平尾さん。地元の短大で服飾を学び、そのままアパレルメーカーの縫製工場へ就職し、婦人服の縫製の仕事に従事していた。

「最初は無我夢中で楽しかったのですが、何年か経った時に、あれ、このままでいいのかなと思えてきて」そんな矢先、劇団四季が大好きという友人に誘われてミュージカル『キャッツ』を観た。

「とにかく観劇が初めての経験だったので、どんな洋服で行けばいいのかすら悩んだのを憶えています。でも、実際に観たらすごく楽しくて、面白い世界があるんだなあ」とその友人が、劇団四季の技術スタッフを募集していることを教えてくれた。

「よくわからないけれど、なにかできそうな気がして応募してみました」ところが、世の中そんなに甘くなく書類審査で不合格。それでも平尾さんは「何となく受かる気がして」1年後に再度挑戦し、見事合格となった。

「最初に落ちた時、その原因はきっと劇団四季のことを知らなすぎたからだと反省したんです。だから、2回目を受けるまでの1年間、劇団四季の演目に関連する本などを読みました。何より四季の公演もたくさん観ました。中でも『ハムレット』を観た時、中世ヨーロッパ調の衣裳があまりに素敵で感動し、また、日本語の美しさに魅せられ、何度も観に行きました。気づけば、すっかり劇団四季に夢中になっていました」

入団して最初に担当したのはミュージカル『アイダ』の初演だった。新作の場合は衣裳も全くゼロから製作することも多い。デザイン画を元に作品の内容、俳優たちがどんな動きをするのかを稽古場で確認しながら、生地準備から採寸、縫製業者への発注

なども行った。

「実は前職ではひたすらミシンとアイロンの日々だったので、事務作業の経験はゼロだったんです。業者との電話でのやりとりも初めてで。たぶん、先輩たちは『新卒でもないのに、何でもこんなに何もできないのかしら』って思っていた気がする(笑)」

すべての作業が初めての経験という怒濤の日々が過ぎ、『アイダ』の初日の幕が開いた時には感極まって一人で号泣したという平尾さん。

「知らなすぎでつらかったのか、それとも開幕の日を迎えたことがうれしかったのか、正直自分でもわからないのですが。ただ、今も続けられているということはこの仕事を楽しかったんだと思います!」

初日のカーテンコールは毎回感動! やってよかったと思える瞬間

今なお、初日のカーテンコールの観客の拍手には、非常に感慨深いものがあると言う。「初日は、衣裳の具合を見届けるという意味もあり、コスチューム担当も劇場に入ります。お客さまの温かい拍手をいただく本当に頑張って良かったねってみんな喜び合う。あ、今でも泣くこともありますね(笑)」

入団して早15年。これまでに衣裳を担当した作品は『サウンド・オブ・ミュージック』『ライオンキング』『マンマ・ミーア!』『ハムレット』など数知れず。気づいたら、若いスタッフを育てる立場に。

「舞台も、舞台衣裳もみんなで作り上げていくものなので、これまでの劇団四季としてのレベルを保ちつつ、さらなる上を目指していきたいです。個人的にはみんなが輝いて働けるよう後輩たちをフォローしていきたいと思っています」

次号-シリーズ-URAKATAは企画制作にスポットをあてます。



劇団四季 コスチューム(衣裳) 平尾 里美

兵庫県龍野市生まれ。神戸文化短期大学服飾科卒業後、東大阪にある縫製工場へ就職。婦人服の縫製に数年携わった後、退職し、劇団四季技術スタッフのコスチューム担当として入団。ミュージカルでは『アイダ』をはじめ、『サウンド・オブ・ミュージック』『ライオンキング』『マンマ・ミーア!』『人間になりたがった猫』『嵐の中の子どもたち』、またストレートプレイでは『ハムレット』『ヴェニス商人』など、衣裳を担当した作品は数え切れない。

公演情報

浅利慶太追悼公演
劇団四季ミュージカル
『エビータ』

9月28日(土) 17:30 新潟県民会館
9月29日(日) 17:30 上越文化会館
※詳しくはP9をご覧ください。



撮影:上原タカシ